

2023年度 HRS-Suzuka Formula Class 加藤大翔(16歳)・洞地遼大(17歳)がスカラシップを獲得

HRS-Suzuka (ホンダ・レーシング・スクール・鈴鹿) は、2023年度のHRS-Suzuka Formula Class アドバンスコースのカリキュラムで優秀な成績を収め選抜された4名による、2023年度HRS-Suzuka Formula Classのスカラシップ(奨学制度)最終選考会を行い、加藤大翔(首席)、洞地遼大(次席)を2023年度のスカラシップ獲得者として決定しました。



(写真左より)加藤大翔、佐藤琢磨Principal、洞地遼大

■ HRS-Suzuka Formula Class スカラシップ獲得選手



◇首席：加藤 大翔 (カトウ タイト) 16歳／三重県出身

【主な経歴】

- 2021年 全日本カート選手権 FS125クラス シリーズ2位(2勝)
- 2022年 EXGEL OK CHAMP シリーズチャンピオン
全日本カート選手権 OKクラス シリーズ7位

【コメント】

『今後、海外でももっともっと速い選手と戦う中で苦戦すると思いますが、その中で自分のベストを尽くします。F1に乗ったときにその経験が活かせるよう、毎年厳しい戦いの中で1番を取って行こうと思っています。そして2027年にはF1ドライバーになることを目標に頑張ります。』



◇次席：洞地 遼大 (ホラチ リョウタ) 17歳／愛知県出身

【主な経歴】

- 2021年 全日本カート選手権 OKクラス シリーズ3位(1勝)
- 2022年 全日本カート選手権 OKクラス シリーズ12位
FIA-F4選手権 スポット参戦
- 2023年 FIA-F4選手権 シリーズ10位

【コメント】

『スカラシップを取れたのは良かったけれど、自分は2年目なのにひとつ年下の加藤くんが首席を奪われたのは正直悔しいです。今後苦しいことがたくさんあると思いますが、それに負けずに、来年からは必ず1番を取ってF1でチャンピオンを取るために頑張っていきます。』